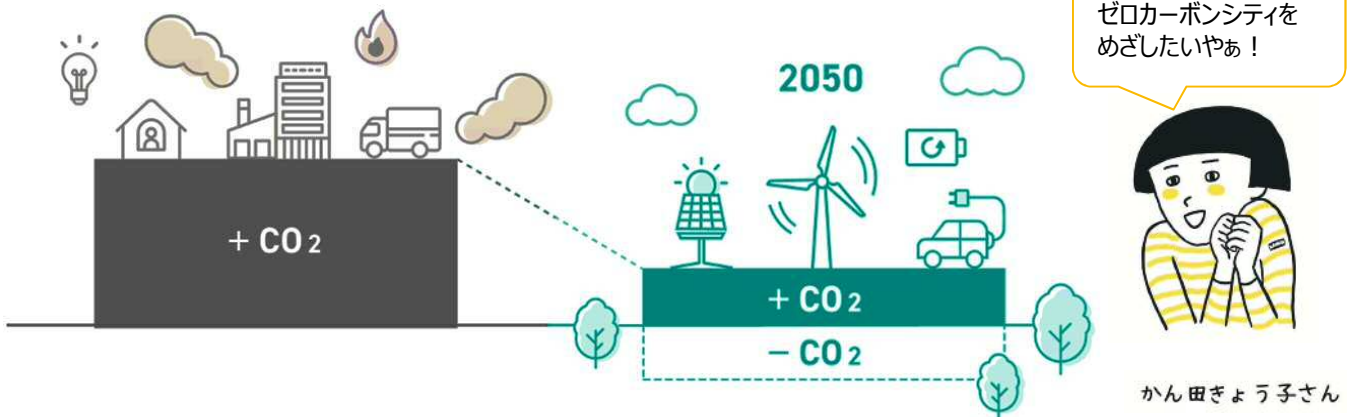


■ 気候変動対策の推進

安心して住み続けられる未来へ 「ゼロカーボンシティとよはし」の実現に向けた 取組みを拡大します

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。未来を担う次世代にこの素晴らしい豊橋を引き継いでいくため、温室効果ガスの削減に向けた省エネ・再エネ設備の補助拡大など、気候変動への対策を推進します。



ポイント

事業費

- 1. **ゼロカーボン実現に向けた普及啓発の実施** 新規
エコカーの展示やパネル展等による啓発イベントを実施します。
- 2. **次世代自動車購入等補助制度の拡充** 拡充
電気自動車等の導入を促進するため、補助件数を拡充します。

8,313万円

お問い合わせ

予定台数	EV	40台 → 100台
	PHV	45台 → 55台
	FCV	3台 → 9台

再生可能エネルギーのまち推進課
(0532) 51-2418
saiene@city.toyohashi.lg.jp

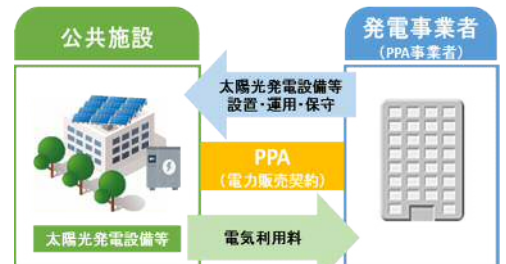
- 3. **大規模施設でのPPA事業に向けた公募の実施** 新規
施設でのエネルギーの地産地消の推進及び災害対応力の向上を図ります。

事業効果	太陽光発電設備設置容量	約1,000kW
	削減されるCO ₂ 排出量	約500t-CO ₂ /年

- 4. **パワーコンディショナーの更新補助制度の新設** 新規
家庭用太陽光発電設備のパワーコンディショナー更新費用を助成します。

補助額	費用の1/5 (上限5万円)
-----	----------------

<PPA事業スキーム>



- 5. **事業者向けの太陽光発電設備等補助制度の新設** 新規
自家消費をベースとした工場・事業所等への導入を促進します。

補助額	太陽光発電設備	1万円/kW (上限100kW)
	蓄電池	1万円/kWh (上限100kWh)

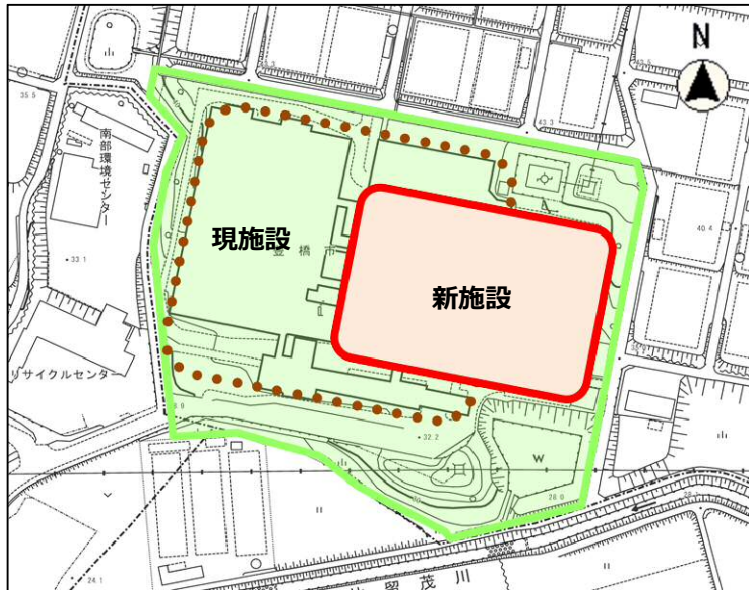
PPA事業とは … 事業者が設置した太陽光発電設備等で発電された電力を施設が調達する仕組み。初期投資や維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用できるメリットがあります。

豊橋田原ごみ処理施設整備事業



豊橋市と田原市の新たなごみ処理施設を整備します

ごみ処理の広域化、廃棄物の適正で安全・安定的な処理の推進及び持続可能な資源循環型社会の構築を図るため、環境にやさしくエネルギーと資源を積極的に有効活用する『豊橋田原ごみ処理施設』の整備に着手します。



事業用地及び施設配置図

ポイント

1. 整備方針

- ・資源化センターの敷地内において、現施設を稼働させながら焼却処理施設及び粗大ごみ処理施設を段階的に整備します。

2. 施設規模及び稼働目標年度

	現施設		▶	新施設	稼働目標年度
	豊橋市	田原市			
焼却処理施設	550t/日	60t/日	▶	417t/日	令和9年度
粗大ごみ処理施設	70t/日	15t/日	▶	36t/日 [※]	令和13年度 [※]

※今後の事業者提案により変わる場合があります。

3. 事業方式

- ・DBO方式 (Design-Build-Operate)
公共の資金で民間事業者が建設・運営を行う公設民営方式

4. 令和4年度事業内容

- ・事業者選定、契約(9月予定)
- ・準備工事(現施設の一部機能移転)
- ・新施設詳細設計

事業費

14億523万円

お問い合わせ

施設建設室

(0532) 38-0777

shisetsukensetsu@city.toyohashi.lg.jp

新しいごみ処理場の
工事が始まるに～



かん田ぎょう子さん